

お宅の屋根の雪や氷は  
だいじょうぶですか？

建設水道課(土木管理係)

☎52 2179

毎年、冬になると屋根に積もった雪、氷、つららが落ちて、歩行者がけがをしたり、また、死亡したりすることが、しばしば起こっています。

事故の発生は、1日の気温が次第に高くなってくる11時ごろから14時ごろまでがピークとなっています。

一方、事故は都市部に集中して発生していますが、郡部の事故は発見が遅れて死亡につながる場合が多くなっています。

皆さん方も、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故を無くするため、特に次のことに注意するようお願いいたします。

屋根の雪、氷、つららは、気温が急に上昇し、特にマイナス3度からプラス3度位になったときは、落ちやすい状態となっていますので早めにおろすようにし、おろすときは

歩行者や遊んでいる子どもなどに注意してください。

屋根からたくさん雪が落ちたときは、直ちに事故がないかどうかを確かめるとともに、歩行者の通行の支障にならないように、すみやかに処理してください。

道路に屋根の雪が落ちるような建物には、雪、氷、つららが落ちて事故が起こらないよう、丈夫な雪のすべり止めなどをつけるようにしてください。

たとえ、雪のすべり止めがつけてあっても、強さが足りなかったり針金などがさび付いて古くなったりして、壊れ落ちることもありますので、必ず点検して、悪いところがあれば早めに修繕するようになしてください。

屋根から落ちた雪、氷、つららや敷地内の雪を道路に出しますと、歩行者や車の運行に支障となりますので、出さないようにしてください。



ビルの壁、窓枠、突出看板などからの落氷雪は少量でも危険ですので付着した氷は、こまめに取り除くようにしてください。雪や氷が落ちる恐れのある軒下などの通行者に十分注意をうながすようにしてください。

軒下では、子どもを遊ばせないようにしてください。

水道管や水洗トイレの凍結にご注意ください

建設水道課(上下水道係)

☎52 2179

寒い冬の訪れとともに、水道管や水洗トイレの凍結事故が多くなる季節になりました。凍結事故を防ぐため、次のことに注意をお願いします。

夜間はもちろん、外出時にも水抜き栓で水落としをこまめに行ってください。

水道管が埋設された部分は、除雪時にできるだけ雪を残して、地下凍結の防止をお願いします。

また、水洗トイレを設置された方は、トラップヒーター付き便器が大半で、このヒーターがトラップ内の

水を凍結から守っています。トラップ内の水が凍結すると用が足せないのはもちろん、状態によっては多額の修理費がかかることがありますので、必ずコンセントを入れヒーターを使用してください。

トラップヒーター付きでない便器を使用している家庭では、トイレ内が氷点下になると便器内トラップの水が凍結する恐れがありますので、室内を暖房するなどをしてください。

さらに、冬期間長期にわたり家を留守にする場合は、ロータンクやトラップ内の水抜きを行い、不凍液を入れておくことをお勧めします。

### 凍らせてしまったら...



水道管の修理は、町内各水道指定業者へ修理を依頼してください。

幾寅(株)ソケイズ ☎52-2343  
幾寅(有)及川水道工業 ☎52-2796  
下金山(株)永井工務店 ☎55-2137

水洗トイレの修理は、町内排水設備等工事指定業者へ修理を依頼してください。

幾寅(株)佐藤工務店 ☎52-2431  
幾寅(株)小松建設工業(株) ☎52-3307  
幾寅(株)ソケイズ ☎52-2343  
幾寅(有)及川水道工業 ☎52-2796  
下金山(株)永井工務店 ☎55-2137  
幾寅(有)南富林建設 ☎52-2092  
幾寅(有)吉岡建設 ☎39-7788